



“地域のことは地域で考えよう”

2017年1月27日

おきぎん県内景況・速報 2016年12月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年12月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は「食料品」などの売れ行きが堅調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルや洗濯機の売上増加などにより前年同月上回りました。新車販売台数はレンタカー需要の減少などから前年同月を下回りました。

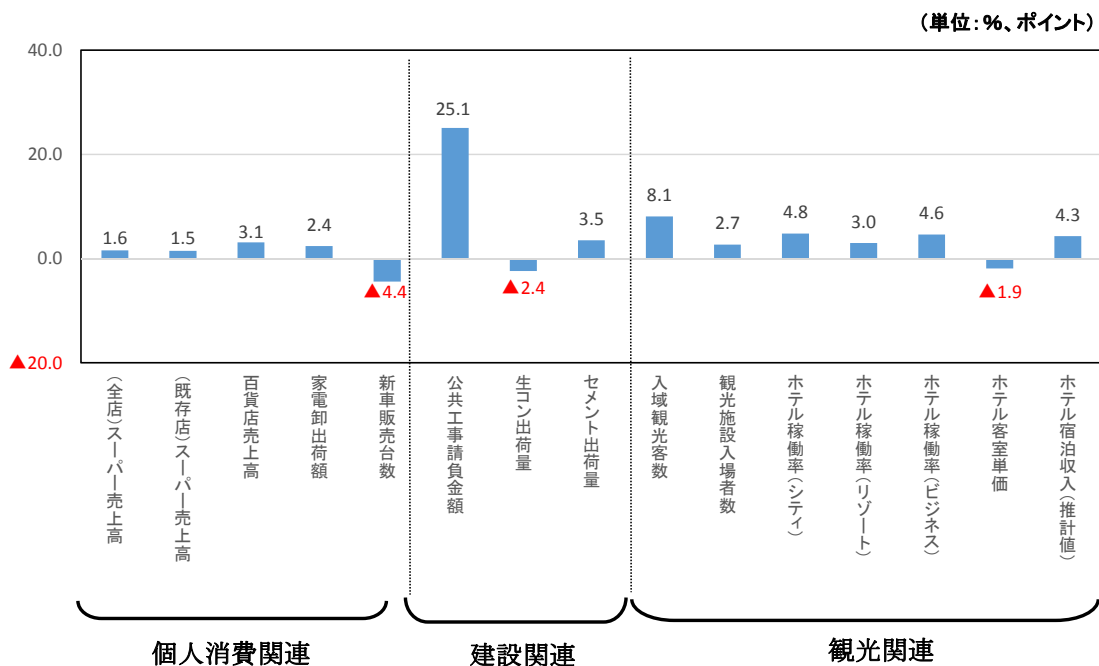
建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村発注による工事増加などで前年同月上回りました。建設資材である生コンは前年同月を下回り、セメントは上回りました。

観光関連では、入域観光客数は51ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から35ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



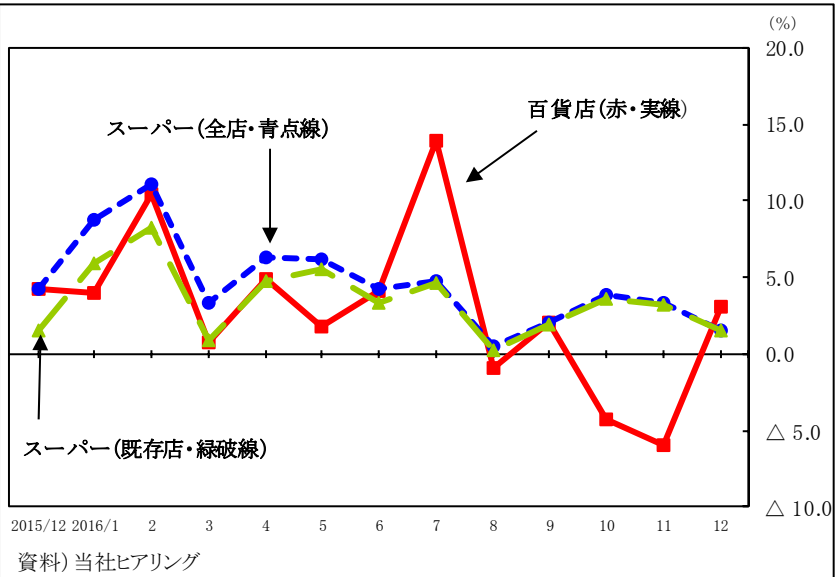


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全 店	既存店	
2015/12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3
11	3.4	3.2	△ 5.9
12	1.6	1.5	3.1

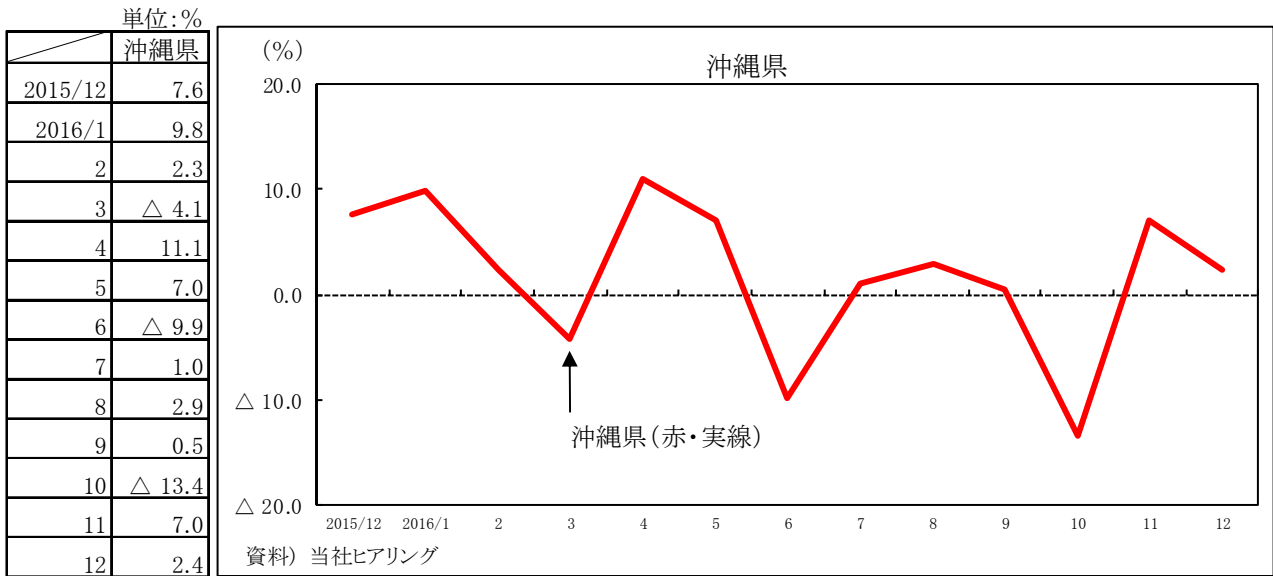


注) 前年同月比

12月の個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース(前年同月比 1.6%増)」が21ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より土曜日が1日多かったほか、新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同 2.6%増)」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 1.5%増)」は、店舗改装による集客効果などから、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.3%増)」は、一部青果の相場高騰に落ち着きがみられ、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったほか、お歳暮ギフトやオールドブル需要が堅調に推移したことなどから、前年同月を上回りました。一方で、家電を含む「家庭用品(同 0.2%減)」は、インバウンド(訪日観光客)による雑貨(化粧品、小物類)需要が堅調だったものの、白物家電(洗濯機、冷蔵庫、エアコン)やテレビなどが前年に伸びた反動などから、前年同月を下回りました。また、「衣料品(同 2.1%減)」は、暖冬の影響などから秋冬物商材の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年より土曜日が1日多かったことなどから、「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調で、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 3.1%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 0.2%減)」は、主力商品である「婦人服(同 0.4%増)」などは割引企画による販促強化から秋冬商材の売れ行きが堅調だったものの、呉服を含む「その他衣料(同 11.9%減)」などが暖冬の影響で低調となり、前年同月を下回りました。「身の回り品(9.6%減)」は、婦人靴・バッグを扱うテナント減少の影響が続くなど、売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。一方で、「食料品(同 3.0%増)」は、生鮮(精肉、水産、青果)や惣菜などの売れ行きが堅調だったほか、お歳暮ギフト需要も堅調に推移したことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 4.9%増)」は、主力商品の化粧品などで継続的なインバウンド需要がみられたことなどから、前年同月を上回りました。

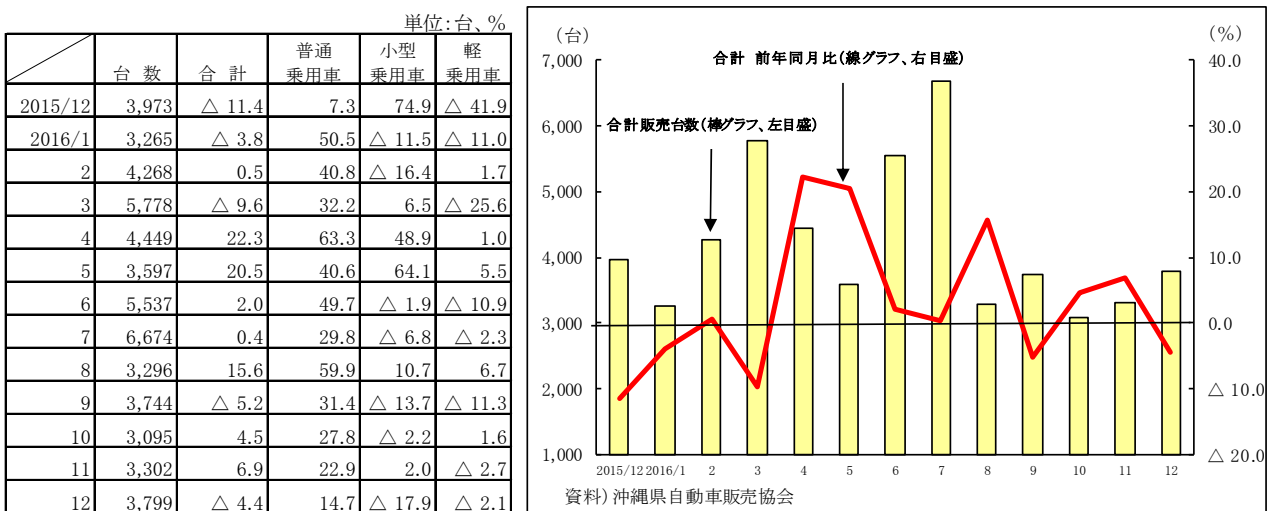
②家電卸出荷額…太陽光パネルや洗濯機の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、太陽光パネルや洗濯機の売上増加などにより、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 2.4%増、太陽光パネルを除くと 0.4%減)。品目別では、「テレビ(同 13.4%減)」は、4K テレビの新型商品効果がみられたものの、前年に伸びた反動などから前年同月を下回りました。一方で、「太陽光パネル(同 43.1%増)」は、固定価格買取額が次年度以降に低減される見通しにより個人住宅の設置需要が高まったことなどから、「洗濯機(同 16.2%増)」や「冷蔵庫(同 2.9%増)」は、新型商品効果や販促強化により売れ行きが堅調で、それぞれ前年同月を上回りました。また、「エアコン(同 23.3%増)」は、暖冬の影響や旧型処分などにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要の減少などから、前年同月を下回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

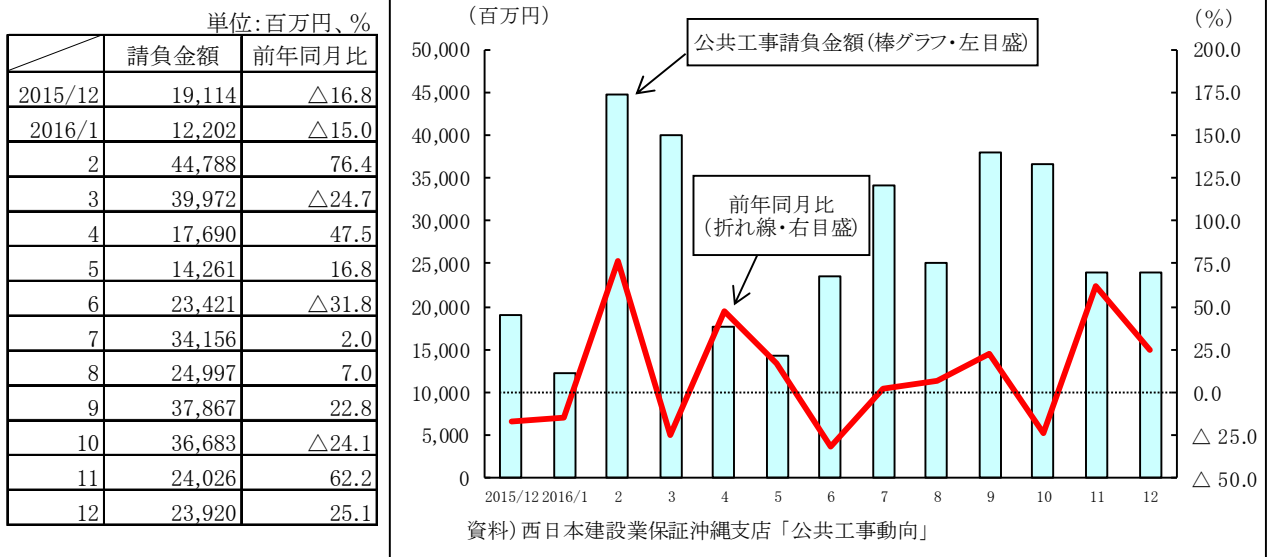
新車販売台数は、全体で 3,799 台(同 4.4%減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 14.7%増)」は 15ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方で、「小型乗用車(同 17.9%減)」は前年に大きく伸びたレンタカー需要の減少などから2ヵ月ぶりに、「軽乗用車(同 2.1%減)」は、軽自動車税増税の影響が続いていることなどから2ヵ月連続で、それぞれ前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



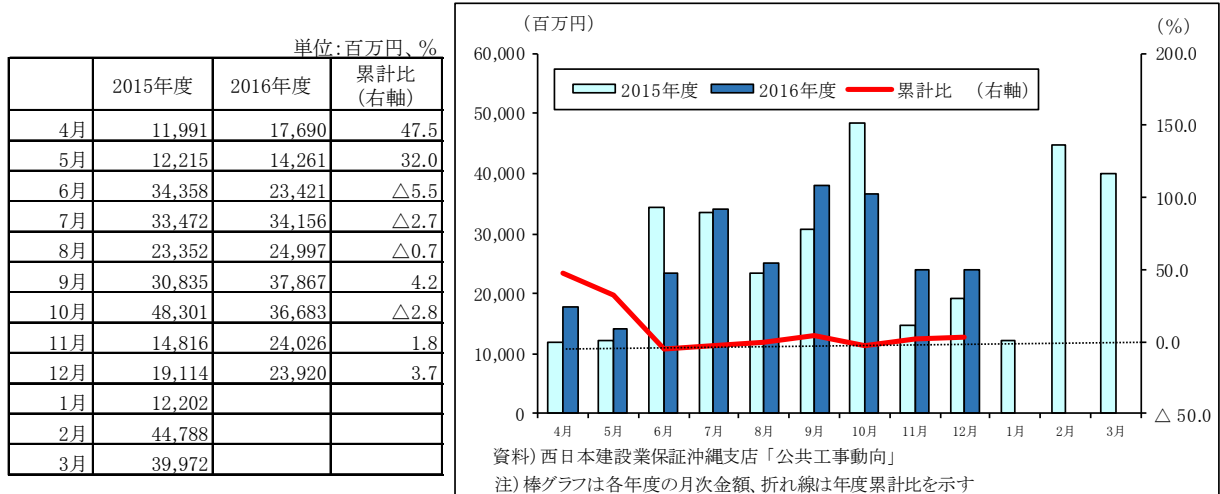
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



12月の公共工事請負金額は、前年同月比25.1%増の239億2,000万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同22.3%減)」や「沖縄県(同31.2%減)」は前年同月を下回ったものの、「国(同118.6%増)」は那覇空港滑走路増設埋立工事などの大型案件、「市町村(同15.6%増)」は南城市庁舎等複合施設新築工事などの大型案件、「その他の公共的団体(同42.0%増)」は那覇市内の都市再生住宅整備工事などの大型工事があり前年同月を上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

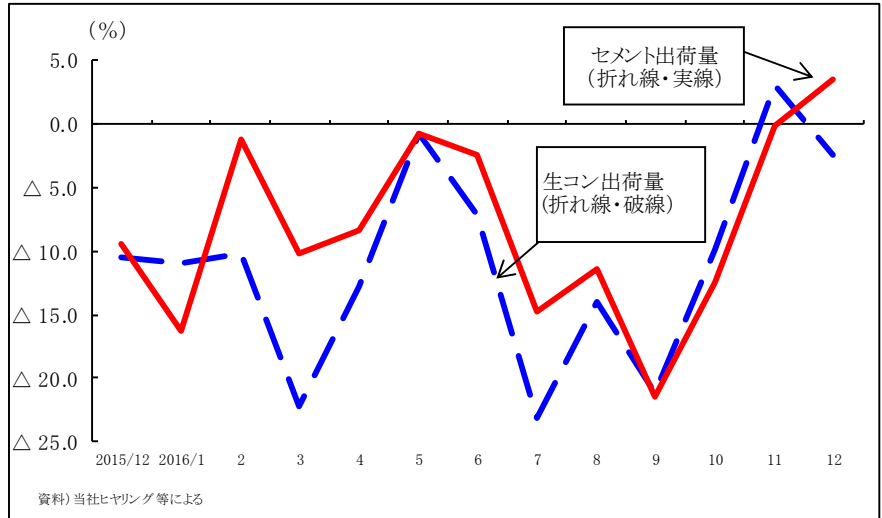


今年度4～12月までの累計を前年度同期と比較すると、3.7%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2015/12	△ 10.5	△ 9.4
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5



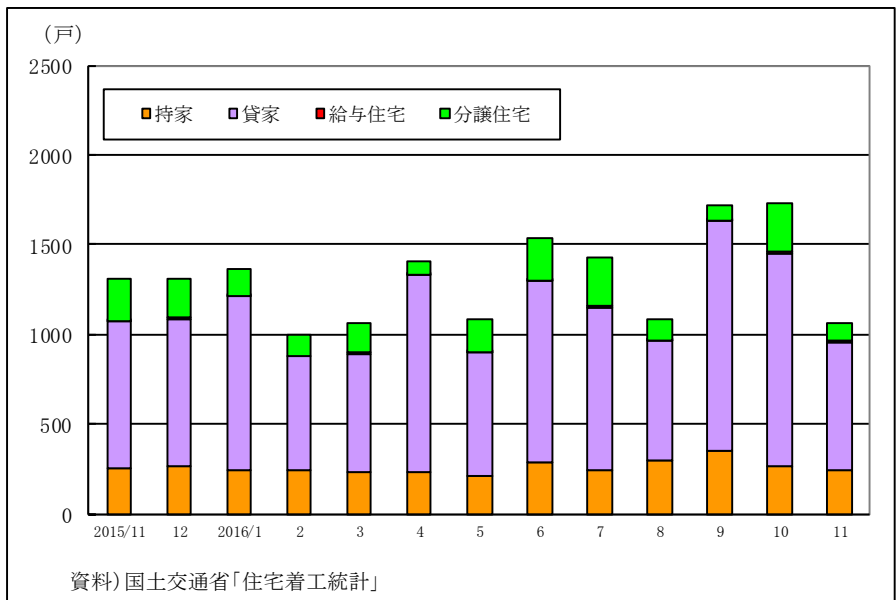
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は2.4%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より17.3%下回ったものの、民間工事向け出荷が7.4%上回りました。セメント出荷量は3.5%増と15ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(11月)…着工戸数は前年同月を下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2015/11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1



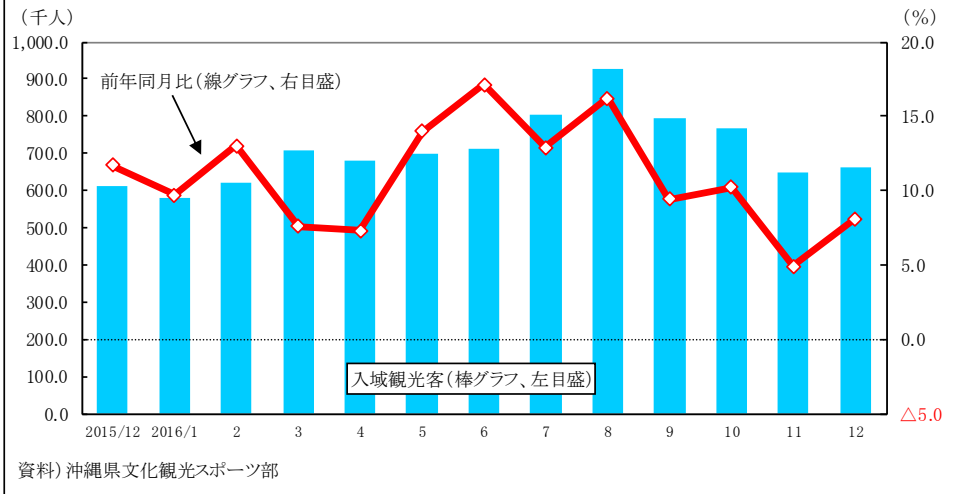
新設住宅着工戸数(11月)は、全体で前年同月比19.1%減の1,057戸と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同12.4%減)」や「持家(同4.3%減)」に加えて、「分譲住宅(同59.3%減)」も前年同月を下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…51ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	697.1	14.0
6	714.4	17.1
7	805.8	12.9
8	926.9	16.2
9	793.0	9.4
10	767.9	10.2
11	650.2	4.9
12	663.0	8.1

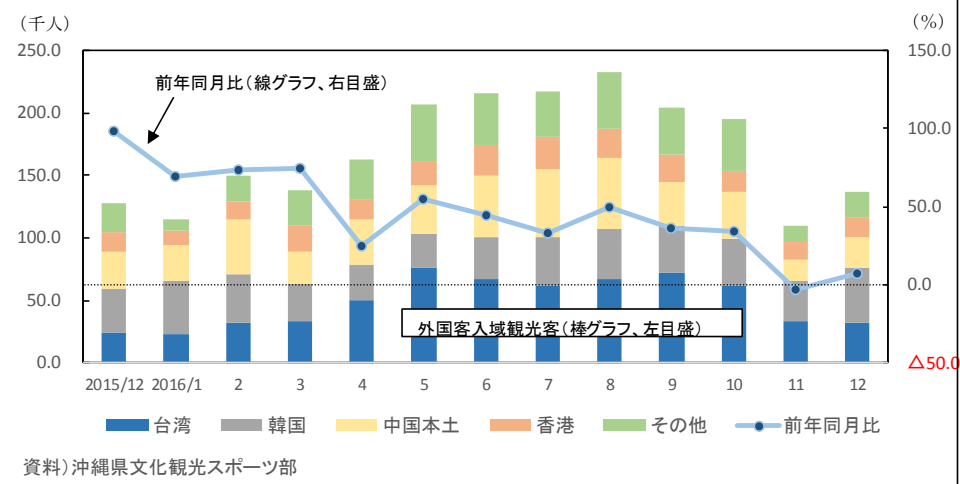


※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7
7	217.3	33.3
8	232.0	50.0
9	203.4	36.0
10	194.7	34.2
11	110.2	△2.8
12	137.2	6.9



※外国客は乗務員等を含む

12月の入域観光客数は、49,400人多い663,000人(前年同月比8.1%増)となり、51ヵ月連続で前年同月を上回りました(12月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同8.3%増)」は525,800人と、各航空会社による航空路線の拡充が夏季以降継続している事や、年末年始の旅行需要増加などから好調に推移し、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同6.9%増)」は、137,200人と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。中国及び香港からの「大型クルーズ船」の寄港回数減少や航空路線の欠航などにより入込が減少したものの、全体としては韓国、台湾における航空路線の拡充効果等により、前年同月を上回りました。

「台湾(同33.8%増)」「韓国(同24.2%増)」「中国本土(同16.4%減)」「香港(同7.5%減)」

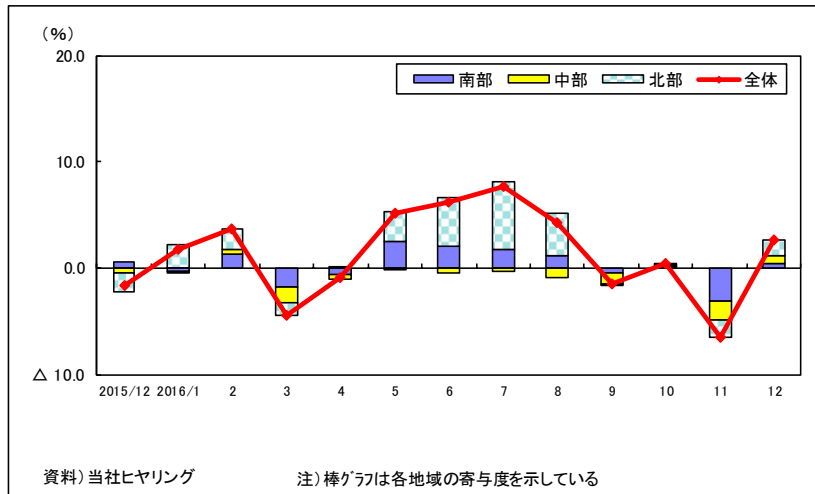
※乗務員等を除く2016年12月実績=全体651,600人(同8.5%増)、外国客125,800人(同9.2%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/12	r △ 1.7	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	△ 1.5	△ 1.3	△ 8.5	△ 0.1
10	0.5	0.3	1.4	0.4
11	△ 6.6	△ 7.4	△ 13.6	△ 3.7
12	2.7	1.1	5.1	3.5

*調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より2.7%増加(2ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同1.1%増と2ヵ月ぶり、中部は同5.1%増と2ヵ月ぶり、北部は同3.5%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

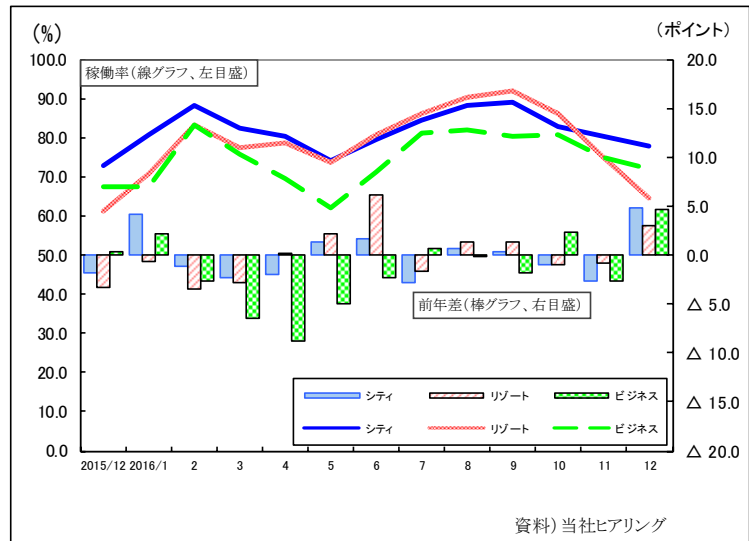
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/12	72.8	r 61.4	67.4	△ 1.8	r △ 3.3	0.3
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△ 0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△ 1.2	△ 3.5	△ 2.7
3	82.3	77.3	75.9	△ 2.3	△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	78.6	69.3	△ 2.0	0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6

注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

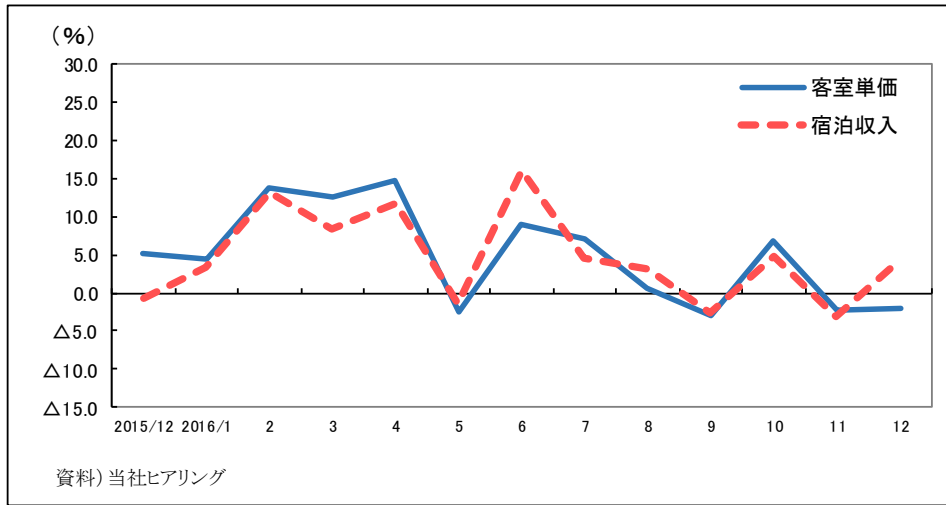
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが77.6%と4.8ポイント上昇(3ヵ月ぶり)、リゾートホテルが64.4%と3.0ポイント上昇(3ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが72.0%と4.6ポイント上昇(2ヵ月ぶり)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2015/12	5.1	r △0.8
2016/1	4.5	3.3
2	13.7	13.2
3	12.7	8.5
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

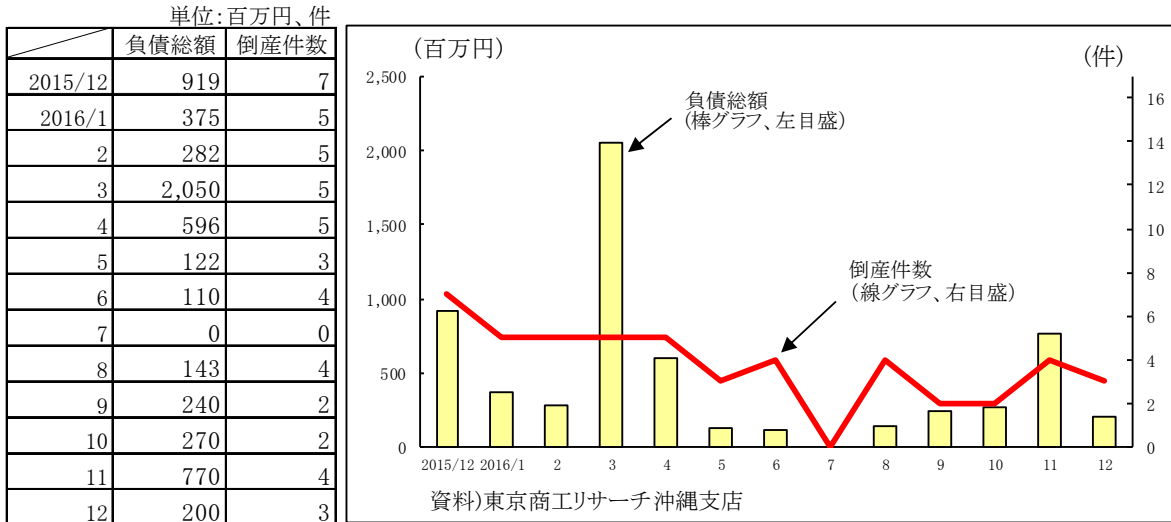
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 1.9%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**は同4.3%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

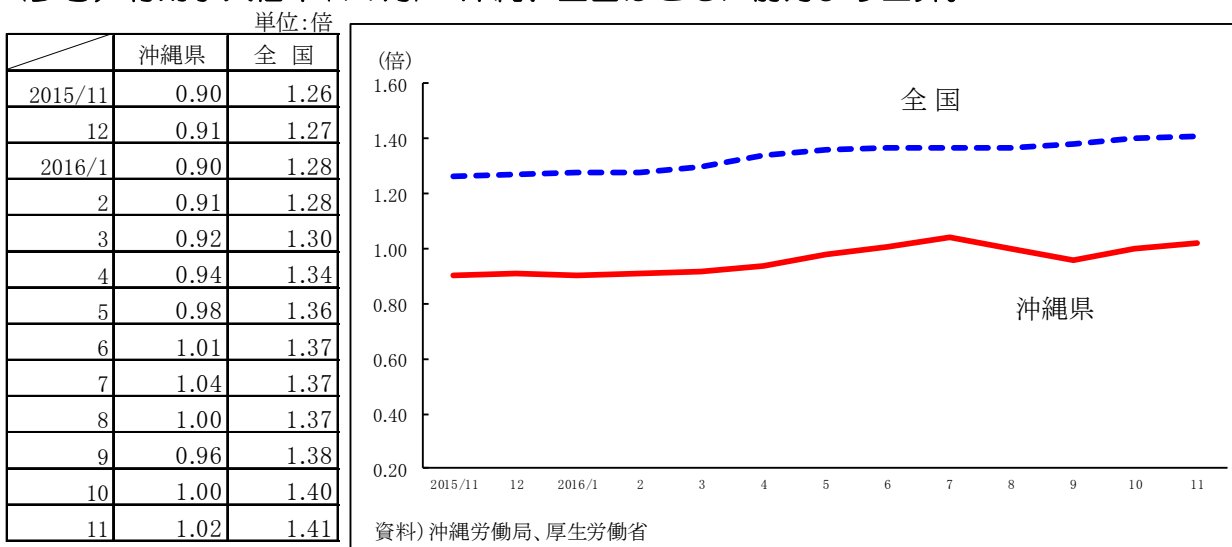


12月の**企業倒産件数**は、3件(うち大口倒産は1件)となり、前年同月より4件減少(同 57.1%減)しました。**負債総額**は2億円となり、前年同月より78.2%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(11月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。



注) 季節調整済

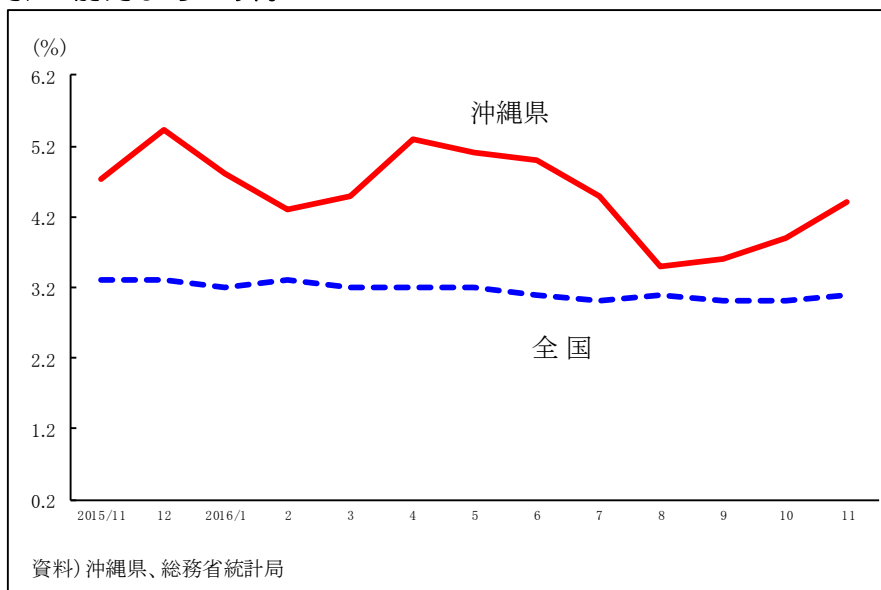
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

11月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.7%増の27,148人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.2%増の26,578人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.02倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(11月)…前月より上昇。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1
7	4.5	3.0
8	3.5	3.1
9	3.6	3.0
10	3.9	3.0
11	4.4	3.1

注) 季節調整済



11月の完全失業率(季節調整値)は、4.4%となり前月より0.5ポイント上昇しました。